

足を大切に！！

糖尿病や高齢の患者様の増加から、透析患者様は下肢の動脈硬化により、血液の流れが悪くなっていることが多いです。

ほんの小さな傷でも放置すると、どんどん悪化し下肢壊死を起こし、切断に至る場合も少なくありません。

そのため、日々の観察や治療、ケアはとても重要です。

当院スタッフは、患者様の足を守り、いつまでも当院に元気に通院してもらえるようにフットケアにも力を入れています！！

1日1回、足を見ましょう！！

足は乾燥してない？
かさかさ？
ひび割れはない？

足の色はどんな色？
赤い？むらさき？

指の間もよく見て！
皮がめくれてない？
血が出てない？
汁が出てきてない？

爪は伸びすぎてない？
魚の目やタコはない？
靴擦れはない？

糖尿病のある方は特に注意が必要です！
ご自身で見るのが難しい場合は、
手鏡を使ったり、
家族に見てもらいましょう！！



当院での取り組み

患者様の足を定期的に見ます。そして、一人ひとり合わせたケアや治療、検査を行います。
必要時、透析中に爪切りや保湿ケアや清潔ケア（足浴）を行います。



専門器具を使って
ケアを行います

動脈硬化や石灰化の有無や程度を評価するために

ABI測定やSPP測定、医師による下肢動脈エコーを行っています。

これらの検査から血流を評価し、必要な場合は専門病院と連携し、
足病変の早期発見・早期治療に努めています。

※ABI検査…血管の硬さ、動脈硬化を調べる検査

※SPP検査…皮膚の表面の小さな血管の血液の流れを調べる検査

足を見て、触って
あれ！？と思ったら
当院看護師にいつでも
ご相談ください！！



《SPP測定中の様子》